

岩手県山田町の「今」を伝える情報誌

やまだ

物語

山田町から
きずな再発信

2013年
vol. 4



● 巻頭インタビュー

やまだまち漫遊

高田佳岳さん

● やまだのものがたり

島の坊伝説

● 山田町×コンシスト

野村繁幸さん

山田町役場用地課

阿部 基さん

山田町商工会青年部部長

やまだまち漫遊

2011年の夏、被災地10ヵ所で花火同時打ち上げに成功。
その後も山田町にも足しげく通い、今年、8月11日の「やまだの花火大会」にもご尽力いただいた、
Light Up Nipponの高田佳岳さんにお話をうかがいました。

Light Up Nippon 代表
高田佳岳さん

**東北を元気にしたい
日本を明るく照らしたい**

「一番大変だったこと？移動かな。」と、さらりと笑う高田さん。
震災後、高田さんが暮らす東京から岩手への交通手段は車しかありませんでした。花火打ち上げの1か月前には毎週のように東京から沿岸被災地まで車で走り、準備期間を含めた四か月間で走行距離は二万キロ超。被災地に花火を打ち上げたい、東北を元気にしたい。その想いだけを胸にアクセルを踏み続けました。

高田さんは震災後、東京湾の花火大会が自粛、中止になるという報道を耳にしました。「余っちゃう花火とお金。全部持って東北へ行けないか！」ふと思いついたこの想いが多いの人の共感を呼び、被災地で花火を打ち上げるプロジェクト、ライトアップニッポンが生まれました。

高田さんと川石水産株式会社の川石社長との出会いは2011年の5月12日。「取って喰われるかと思つた（笑）」初対面の印象を、高田さんは振り返ります。確かに川石社長は強面失礼！でも、とても情熱家。「高田さんの第一印象？一言で言うなら、へなちょこ（笑）。でも話を聞くと、すぐに頭の良い奴だと感じた。

ただ、当時は花火を上げることなど、まるっきり考えてなかった。」

山田町を訪れる前、高田さんは、とある女性に山田町の知り合いを紹介してほしい、とお願いしました。その方は東京在住で、震災時にたまたま仕事で訪れていた山田町で被災。避難所から東京へ戻るまでの間、川石社長にお世話になった女性でした。この巡り会いで山田町の花火開催の企画はトントン拍子に進んでいきました。

**山田の花火は
自分たちで咲かせる**

「二番目に大変だったのは、やっぱり資金集め。当時は会社員だったので、平日の時間は仕事で使いづらかったですね。」

その頃高田さんは広告代理店に勤務。多忙な毎日の中で資金集めに奮闘していました。

「そんな時、川石社長から『花火代や警備代はもううけど、実行委員会はこつちで作るから自分たちでやらせてくれないか』と言われました。花火大会の準備はすべて、ライトアップニッポンでやるうと思つていましたが、実は資金集めに追われ、準備をする時間などなかったので助かりました。この言葉を聞き、他の開催場所でも自分たちで出来る方には準備をお願いすることにしたんです。」

**オリジナル商品で
継続的な資金集めを**

ライトアップニッポンは、盛岡の地ビールメーカーでタイアップ商品を開発。チャリティソングも制作しました。

「今でも募金をしてくれる人はいるけど、継続的な資金集め、特に協賛集めには限界があります。そこで、地道だけど地元でも売れて、応援してくれる人にも買ってもらえるようなオリジナル商品を考えました。今後も商品をどんどん増やして展開していきたいと考えています。募金活動は山田でもしていますが他の場所でも、自分達の花火だと思つて進んでもらいたいと思つています。」

終わりは始まり

今年で3回目となる花火。震災の年には10か所だった開催地も今年は14か所に。

「実は、僕らを足長おじさんと思われる方も正直いたんです。ライトアップニッポンに頼めば花火上げてくれるんでしょ？と。でも山田町は違った。山田の人達は、他の地域にない自分達の花火という意識が高い。あ、でも、特殊な人に逢いすぎてるのかも（笑）。」

高田さん自身、ライトアップニッポンで沢山の人達と出会い、数え



ハナビール
盛岡の地ビールペアレンビールとのタイアップ商品。売上金の一部が花火の資金として寄付されます。400円（税込）



Song for LIGHT UP NIPPON
総勢500名の東北の子供達と25組の著名人が参加した花火の為にチャリティソング。収益は花火の資金となります。1,000円（税込）

**すべては
みんなの笑顔のために**

当時は、まだ街のがれきりも片付いていない頃。川石社長は花火大会を開催する意義を考えていました。「そもそも亡くなった人を想う花火。でも今は祭りや祝い事で上げると思っている人がほとんど。誤解される不安があったけど、やった方がいいか、やらない方がいいかと考えた時、やった方がいいと思つた。花火を見る子供達やお爺さん、お婆さんが笑顔で喜んでる姿を見て、やって良かったと思つた。」

切れない程のことを学んだと言います。

「自分では小さなこと、他愛もないこと、思いつきかもしれないが、まずは口に出して、動いてみて下さい。馬鹿にされても、笑われても、邪魔されてもかまいません。大切なことは自分で動くことだと思ふんですよ。」

そう言つて、自信に満ちた笑みを浮かべる高田さん。「終わったら、また新しく始まるだけ。これから東北に通い続けますよ」と語るまなざしは、もう次の空を見つめているようです。

高田佳岳
たかだよしたけ
1977年生まれ。
東京水産大学、東京大学大学院海洋研究所卒業。
在学中、岩手県大槌町の研究センターに所属。
スキューバダイビングインストラクターを経て都内の広告代理店に勤務。
2013年9月には退職し、自由業（!?）となり、更なる活動を模索中。



やまだの
ものがたり



2011年4月27日の大杉神社。

津波にも耐えた大杉神社の鳥居。現在は社殿、神輿の早期復旧を目指し募金活動も行っています。

しま ぼう 島の坊伝説

大杉神社に伝わる島の坊伝説。
一体どんな伝説なのでしょう？

海に神輿が勢いよく入り勇壮な姿を見せてくれる大杉神社の例大祭。毎年9月中頃に行われていたが、震災によりその姿は失われ、今復興の最中です。この大杉神社のお祭り、昔は「あんばさまの祭り」と呼ぶ人もありました。漁神網場大杉は、あんばさまや大杉様と呼ばれる神霊が大杉神社の場所に祭祀されています。そして、島の坊と呼ばれる坊主の霊もこの場所に祭祀されたと言われています。では島の坊とは、どんな人なのでしょう？

山田町関口地区の奥に島の坊という大変な馬鹿力をもった坊主がいました。人々はその力を恐れていたため、島の坊は人里へ出ては好き放題、海に出ては漁師から海のもの奪ったり、また少しでも小言を言えば船を流したりとやり放題。そんな行為に人々は困り果て、ある日のこと、皆で島の坊をやつこのこ

とで捕まえ、グルグルと簀巻^{すま}ぎにして海へ放り投げてしましました。そしてその亡骸は大島（現オランダ島）にあらりました。それからというもの七日七夜、海が荒れ、船が漁に出ることができなくなっていました。困った人々は巫女に海を静めてもらおうと訪ねると、島の坊の祟りゆえ供養せよとのこと。それを聞いた人々は何とか供養したいと、亡骸をあんばさまと呼び大杉神社へ安置しました。

その後、大沢地区柳沢という場所の一角に御堂を建て、女子衆が集まり口説の念仏を唱え、今までの大荒れが嘘のように海は静まりました。今でもお祭りの宵宮では御詠歌をあげています。あんばさまとして祀られた島の坊。「あんばさまの祭り」と呼ばれるのは、このことからきていると伝えられています。

僕 の力を 復興の 第一歩へ。

三重県伊勢市出身の野村繁幸さん。
震災後、伊勢山田の地名繋がりでボランティア活動を通して山田町と交流を持つようになりました。

N O M U R A S H I G E Y U K I

野村繁幸さん 山田町役場用地課

ずっと見てきた、顔がある。
住んでわかる、町の姿がある。

被災された土地を買い取らせて頂く、それが用地課の主な仕事です。現在は、津波に流された区域を中心に、移転先となる高台団地の建設予定地等の、買い取りに向けた準備を行っています。

被災された方々、一人一人の生活を再建するためお伝えさせて頂くのが我々の目的ですが、職員の数が足りず、一人一人への対応が事務的になってしまいがちです。今後のそれぞれの生活のために、もっと親身になり話をお聞きしたいんです。自分があと50人くらいおつたらええのに……と悩んだりします。まさに、猫の手も借りたい思いです。

震災後約1か月、4月から2年間通ってきたので、ある程度土地には慣れてはいるし、今では付き合っても広くなり深くなったので、初めて来た頃のような心細さは無くなりました。しかし、住まなければわからない土地の距離感や、土地の気候等はまだまだ慣れないなあ。伊勢と山田では比べ物にならないくらい気候が違う。驚いてばかりです。

交番横に少し高くなった土地があるのですが、そこが山田町へ来る所です。そこは初めて山田町へ来て車を降りた場所。お気に入りというには悲しいけど、ここで車を降りて街の空気に触れ、まだ煙の臭いや瓦礫を肌で感じました。そこから見る町の風景や、少しずつ立ち始めた電柱、町の灯りが灯る所など、一歩一歩進んでいく様子を見てきた場所なんです。

結局「人」が町を作る。

今年から本格的に復興への事業が動き始めたといってもいいと思う。ここからはじまる3年間の任期で、町がどう変わっていくか見届けたい。この非常時、復興事業を進めていくことで、いろいろな立場の人がひとつの目標を持って進むことができる。「街づくり」と一言でいうけど、どんな街でも利害があつたりして再開発などはなかなか進まないのが全国的な状況です。そういう意味で、町民全体が一つになって困難を克服していくチャンスだと思う。

どんな理念を唱えようと、どんな新しい技術を使おうと結局「人」が町を作るのだと思う。たくさんの方々が入ってきて、地元の人だけでなく新しい人と人のつながりが全国から人を集める、そんな街になったら良いなと思います。

A B E M O T O K I

若い力で 元気な山田町へ。

山田町商工会青年部部長の阿部さんは、山田町の婚活イベントや、やまだの花火大会など、山田を盛り上げるイベントに積極的に力を注ぎ、山田の若者を引っ張っています。

阿部 基さん

美容師
山田町商工会青年部部長

商工会青年部には、山田の為に何かしたいと思う人が集まっています。個々の仕事をしながらの活動になるので、自分のため、仕事のためになります。山田にはお祭り以外で人々が集まる場所やイベントがあまりないので、皆のために集まれる場所を作ってあげられたらという思いで活動をしています。その中の活動で、花火大会は青年部独自の活動なので特別な思いがあります。毎年続けていけたらと思っています。

やまだのまちコン かきくけコン

地産地消を発揮する場がないという事で、イベントを考えていました。单身男女を集め、地産地消を紹介する場所での出会いもあったらいいなと思います。まちコンという形で企画しました。それに、若い人達にも山田の物を食べてもらいたいという思いもあったんです。カップル誕生も大事ですが、そこからの人の繋がりを大事にしてもらえればこの企画は大成功だったと思います。今後はもっと幅広い年代向けに行えるイベントがあればそちらに力を入れていきたい

と思っています。

若者に可能性を提示したい。

震災後、山田町の為に何かをやりたいけどどうすればいいのかわからないという若者の声を多く聞きました。私たちは商工会青年部という肩書きからイベントの企画ができますが、そうでない若者達は、どうにもできずにいます。山田の為に何かをやりたいと言っている若者はいっぱいいるんだけど…。そこですまず青年部からやればできるという所を見せて、彼らの思いを繋ぎ、一緒に色々できればいいなと思っています。

今は部員減少が悩み。もっと一緒にイベントをやってくれる人がいればいいなと思います。年齢制限、条件があるため、なかなか入りづらいかもしれませんが、部員募集中ですのでもいつでも気軽に声をかけてください。

自分たちの町を いつまでも残したい。

率先して行動していく人が集まる町になれば良いと思う。やれないことはやらなくても良いけど、やれることはやるうよって思います。もとの山田を思い浮かべ、今できることをやらないと、元に戻るどころか、もっと小さい町になってしまう。行動力のある人が集まって、実行できる町を目指せたら、嬉しいと思っています。

山田町おでかけマップ



やまだ物語／観光やまだ vol.4

2013年(平成25年)9月11日発行

発行人 新生やまだ商店街協同組合
〒028-1341
岩手県下閉伊郡山田町八幡町12-9
TEL / FAX 0193-77-3732
http://www.facebook.com/shinseiyamada

編集人 新生やまだ商店街協同組合
山田町役場水産商工課
山田町教育委員会生涯学習課
山田町商工会／道の駅やまだ
やまだ夢プロジェクト
びはん(株)地域連携推進室
山田町観光協会

編集 新生やまだ商店街協同組合
AD 佐藤健(アールコンジュウゴデザイン)
デザイン 佐藤健、佐々木真美子、柴川陽俊
撮影 昆尚人(写真屋KON)、柴川陽俊
文 佐藤健、椎屋百代、今野雄介、金澤静江、佐々木真美子
表紙・絵 佐々木みなみ(山田中3年)
表紙・写真 柴川陽俊
発行支援 公益財団法人 国際開発救援財団(FIDRファイダー)
http://www.fidr.or.jp
印刷・製本 株式会社 東海印刷所

※小誌に掲載されたインタビューや寄稿文などの内容は必ずしも編集人の見解を反映するものではありません。表記された価格は税込です。なお、掲載された情報は2013年8月現在のものです。



【自動車】
盛岡南IC～山田町 約2時間50分
東和IC～山田町 約2時間30分
【公共交通機関】
電車 東京～盛岡(JR東北新幹線) 約2時間30分
盛岡～宮古(JR山田線) 約2時間30分
高速バス 品川～道の駅やまだ 約11時間
池袋～道の駅やまだ 約10時間
路線バス 盛岡～道の駅やまだ 約3時間
飛行機 大阪～いわて花巻(JAL) 約1時間30分
札幌～いわて花巻(JAL) 約1時間
※所要時間は天候等で変動します

カットインみなと

熱意あふれる現代の名工がいる
沿岸初のユニセックスサロン



カットインみなとさんは理容と美容、ふたつの特徴を持っているユニセックスサロンと言われる理美容室です。経営するのは湊正美さん。岩手県理容生活衛生同業組合の理事長を務め、さらには現代の名工にも選ばれた意欲溢れる方です。

震災後は避難した体育館で理容ボランティアを行い、2か月後にはお店を復活させたりと山田町の復興をとても真剣に考え活動しています。また、1ター

ンの受け入れにも取り組むなど、人材育成にも力を入れています。現在は山田町長崎の仮店舗にてスタッフ6名で頑張っています。少しでも早く山田町の商業を軌道に乗せたいと願う湊さんは、同じ志を持った仲間達と一緒に、商店街を整備する活動も行っています。

カット 3,360円～／パーマ 6,300円～／カラー 6,300円～／ストレート 10,500円～／レディースシェーブ 2,620円～



スタッフのみなさん

カットインみなと

山田町長崎4丁目10-1

☎0193-82-2072

営業時間／平日 9:00～ 日祝日 8:30～
小学生以下のお子様にお菓子をプレゼント

中村生花店

中村生花店さんは震災前は中央町国道沿いにありましたが、現在は長崎町の踏切りを南小学校方向に200mぐらい歩いた左側の仮設店舗で営業しています。

中村さんは山田高校を卒業後、自衛隊、JAを経て、家業である中村生花店を継ぎました。幼少の頃から、親の仕事を手伝っていたせいか、あまり抵抗なく継ぐことができたようです。しかし、本格的に“花”を覚えるために、フラワー装飾技能師一級、日本フラワーデザイナー協会講師と資格を取得し、努力を惜しみません。震災があり、現在はいくかと不便な仮設営業ですが、今後は本設に向けて店舗を建て直し、早く軌道にのせたいと頑張っています。



中村生花店

山田町長崎1-11-2

☎0193-82-3038

沼崎製材所



現在、山田町豊間根で営業している沼崎製材所さん。元は山田町大浦地区に工場がありました。津波により工場や材木はすべて流出し、被害の大きさから一時は再建を断念しました。しかし、親戚の協力を得られ、津波の心配の無い土地を提供してもらう事ができ、また被災前の従業員も戻ってきてくれて、再開にこぎつけました。現在は、社員一丸となってお客様獲得のため、頑張っています。

沼崎製材所

岩手県下閉伊郡山田町豊間根第5地割260-22

☎0193-86-3190

Members

山田町で頑張っている事業者さんをご紹介します。

味処いっぷく

震災後の、最初に再開した飲食店。
愛嬌あるパワフル店主がお出迎え。



味処いっぷくの店主・山崎純さんは、震災後、がれき撤去を行う友人や後輩の皆の姿を見て、自分は何ができるのだろうと悩み続けていました。やがて、自分にできることはやっぱりご飯を作り提供する事だということに至り、すぐに手元の材料や拾ってきた調味料を調達し、瓦礫撤去をしている人々へご飯の提供を始めました。

その中の一人が「俺が建てるから店をやらないか」と声をかけてくれたことからお店を再開

する事を決意したと言います。

味処いっぷくは、地物の魚を主とした定食や丼、一品料理等のメニューがずらりと並びます。山崎さんの提供するメニューはボリュームがあり、食べ応え抜群！おすすめメニューは、めかぶといくらの上に焼ウニがのる豪華「三陸復興三食丼（1,200円）」。



三陸復興三食丼(1,200円)

味処いっぷく

山田町八幡町10-4

☎0193-82-4960

営業時間／11:30～14:00
17:00～22:00

マリンタクシー

あの日を忘れずに
語り部で防災の大切さを伝えていきたい

震災前、マリンタクシーさんは山田町織笠地区に本社がありました。防潮堤のすぐ脇にあった事務所は津波により流れ、一部車両も失い営業継続ができなくなりました。

社長の立花さんは、一時、避難所に留まりましたが、すぐに自宅のある盛岡市へと車を走らせ物資をかき集めて避難所へと配るボランティアを始めました。立花さんは、人口流出が止まらない山田町での事業継続を悩みましたが、それでも山田町

をなんとかしたいと事業継続の道を選び、さらには復興を志す仲間達で組合を立ち上げました。

その組合で行っている「語り部ガイド」のリーダーをつとめる立花さんは、自らの経験を「語り部タクシー」で伝えています。避難場所の確保、食料の備蓄や防災対策の大切さを一人でも多くの方に伝えたいとガイドに力を入れています。震災当時のお話からボランティア活動の一部始終まで、是非立花さんの語り部を聞きにいらしてください。



マリンタクシー 立花正男社長

マリンタクシー

山田町大沢第2地割19-1

☎0193-82-3455

豊かな
自然が
育んだ

山田の美味

豊かな自然に囲まれた山田町は美味の宝庫。

海の幸・山の幸を使った名産を、ご家庭でもお召し上がり頂けます。

今回は、新たに5つの味が仲間入り。

古くから親しまれている味覚とともに是非ご堪能ください。

本格芋焼酎
酔神の心(紫芋)

さつま芋の新種「紅はるか」を使用した原酒をブレンドし、白麹で仕込みました。口に含むと芋の甘さが口いっぱいに広がり、スッキリした味わいが特徴の本格芋焼酎です。

本格焼酎
酔神の心(麦)

厳選された大麦を使用し、白麹で仕込みました。どんな料理にも合わせやすい、白麹のスッキリとした軽快な飲み口の麦焼酎です。

(株)五箇丸水産
Fax.0193-86-2181
【☎】0193-86-2188
【所】山田町豊間根7-30 C棟
http://gotokumaru.jp/

常温	180日	送料	別途	期間	なし
内容:各720ml×1本					
価格 各 1,600円					



※化粧箱は別売りで1本250円2本入りは300円です。 ※さつま芋びす堂様とのコラボレーション商品です。

「ぶち御膳」セット

木村商店の人気商品を食べきりサイズにしました。特製魚介だしでコトコト煮含めた甘露煮や、旨味たっぷりのさば味噌煮など、一品欲しい時にすぐ食卓へ。

(有)木村商店
Fax.0193-86-2810
【☎】0193-83-5510
【所】山田町豊間根7-30 B棟
http://tokkuri.co.jp

冷蔵	30日	送料	込	期間	通年
内容:焼さけ1切、焼さば1切、さば味噌煮1切、帆立甘露煮60g、さんま甘露煮80g、鮭甘露煮80g					
価格 2,500円					

「三陸山田 漁師の晩酌」
茎わかめのしそ酢漬け

岩手県山田産の茎わかめを岩手県川井村のしそ原液と穀物酢をブレンドした甘酢に漬け込みました。茎わかめのシャキシャキ感とお酢のサッパリ感がご飯やお酒のツマミにピッタリの逸品です。

(有)まるき水産
☎&Fax.0193-82-5511
(問合せ10:00~)
【所】山田町北浜町96-3
http://marukisuisan.net/

冷蔵	1ヶ月	送料	別途	期間	通年
内容:80g×1袋					
価格 300円					

浜千鳥大吟醸鮓

岩手県釜石市の銘酒「浜千鳥大吟醸」の酒粕と清酒を使い、金華糖という砂糖菓子にしました。淡雪のような口どけで、加熱処理によりアルコールは0%。お子様でも安心です。

三陸味処三五十
Fax.0193-82-3508
【☎】0193-82-3508
【所】山田町飯岡5-26-6

常温	2ヶ月	送料	別途	期間	通年
内容:45g×1袋、90g×1袋					
価格(45g) 価格(90g) 350円 580円					

金印焼のりセット

原料を吟味し、1枚1枚丁寧に丹精を込めて焼き上げました。芳賀商店の人気ナンバーワン。

芳賀商店
☎0193-84-2341
【所】山田町船越5-12-6
akatsuki3733@mx51.et.tiki.ne.jp

常温	6ヶ月	送料	別途	期間	通年
内容:全型10枚×5帖					
価格 1,840円					

ベビーホタテの極上カレー

水産業の7割以上をホタテガイが占める「ホタテの町」である、北海道八雲市と山田町のホタテ屋がコラボレーションした逸品です。柔らかいベビーホタテでお客様はもちろん安心してお召し上がりになります。

(株)川石水産
Fax.0193-83-5020
【☎】0193-83-5155
【所】山田町山田5-30-47
http://www.kawaishi-suisan.com/

常温	2年	送料	別途	期間	通年
内容:300g×1箱					
価格 1,000円					



フレーク5レンジャー

岩手県山田産の秋鮭、フグを使用しフレークにしました。そのままごはんにかけて召し上がれます。

(有)長根水産
Fax.0193-84-2603
【☎】0193-84-2603
【所】山田町船越11-7-14

常温	6ヶ月	送料	別途	期間	通年
内容:6本入1組(鮭フレーク70g×2本、鮭フレークブラックペッパー入70g×1、紅鮭入りフレーク70g×1、鮭フレークビーフ味70g×1、フグフレーク80g×1)					
価格 1,500円					

乾燥品セットA

岩手の海藻とアミエビを乾燥しました。色々な料理にご使用いただき、岩手の磯の香りをご賞味ください。

(株)川秀
Fax.0193-67-3881
【☎】0193-83-1733
【所】宮古市津軽石13地割411

常温	6ヶ月	送料	別途	期間	通年
内容:すき昆布1枚、カット若布20g、刻み干しめかぶ25g、ふのり10g、アミエビ30g					
価格 1,550円					

山田の醤油

岩手県山田町のお醤油です。どんな料理にもありますが、白身魚のお刺身によく合います。漬物・煮物・肉じゃが・焼きおにぎりなど色々使えます。一度使ったらやみつきです。

(株)びはんコーポレーション
Fax.0193-82-5850
【☎】0193-82-3881
【所】山田町中央町5-6
http://www.yamadabihan.jp/

常温	1年半	送料	別途	期間	通年
内容:110ml×1本					
価格 100円					

食べる 呑む



11月上旬よりかき提供再開!!
美味しい山田の牡蠣を是非味わって!!

三陸山田 かき小屋

ゴールデンウィーク(5月6日)まで、鉄板の蒸し焼き牡蠣が存分に味わえる食べ放題を実施中(ライス付き、前日まで要予約)。ほかに、かき玉丼・汁付き700円、かき小屋海鮮焼きそば600円も。

【料】大人 2,500円、小学生以下 1,500円
【営】11:00～/12:00～/13:00～/14:00～
(完全予約制。制限時間40分)
【休】水、木、年末年始(祝日の場合は営業)
【所】山田町船越9-270
【☎】0193-84-3775(山田町観光協会:8:30～17:00)



居酒屋・寿司 ささき

昭和55年、駅前に店舗を構え、今年で45年。山田の人達に愛されるお店。家族仲良く切り盛りしている店内はアットホームな感じです。震災後は仮設店舗での営業でしたが、7月31日、駅前に本設で店舗をオープンさせました。今までご苦労があったか?とお聞きすると、「ない!」と一言。男気のある佐々木さん。新しいお店になって「やる気十分!後には戻れない」と意気込みを語ってくれました。

おススメは旬の食材を使ったお寿司。おまかせお寿司セットは1,500円・2,000円・3,000円があります。(8～10貫。季節により変わります)その他、居酒屋メニューも豊富です。

居酒屋・寿司 ささき

【営】15:00～23:00
【休】毎週水曜日
【所】山田町川向16-6
☎0193-82-5295



山田湾ベーカリー

今年4月6日に新しく出来た山田唯一の手作りパン屋さん。岩手県産の小麦や、地元の海産物や食材を使用し、地産地消のパンづくりを目指しています。おススメは、フランスパン、あんブレッド、福幸リング。どれも食欲をそそります。

石割桜フランスパン 280円
あんブレッド 350円
福幸リング 600円
【営】9:00～16:00
【休】毎週火曜日
【所】山田町大沢2-19-1(とっと内)
【☎】0193-81-1003

やまた観光物産館 とっと

山田で獲れた新鮮なホタテ・カキをその場で焼いて食べるコーナーが!! カキやホタテの値段は時期によって変動します。ラッキーな時にはアワビもあるかも!?

【海鮮焼き】
網焼きコンロ 小学生 100円
中学生以上 200円×人数
カセットコンロ・鍋1台 300円
【営】9:00～18:00
【休】火曜日
【所】山田町大沢2-19-1
【☎】0193-77-4890

とっとちゃん→
ウミネコの子供に鮭の背びれと尾を付け、漁師さんが着用している胸当てを着てはっかぶりをしているマスコットキャラクター。これでも3歳。



観る 遊ぶ



要予約
土日祝日限定

山田湾絆船クルーズ

山田湾めぐりや船越半島、重茂半島めぐりが出来るガイド付きのクルーズ。船から見る高さ350Mの赤褐色の岩肌「赤平金剛」は圧巻です。ファミリーや仲間で山田の海を楽しんでみて。

【絆船クルーズ山田湾めぐり】
1時間 3名まで4,500円/6名まで9,000円
2時間 3名まで9,000円/6名まで18,000円

【船越半島クルーズ】
2時間 6名まで21,000円
半日 6名まで42,000円

【渡船】
3名まで3,000円
6名まで6,000円(山田湾内に限る)

その他チャーターも承ります。

【お申し込み】やまだ夢プロジェクト
【☎】090-7790-7458



早起きして
行ってみて!!

よっておでんせ市

土日営業のみですが、開店前の朝に獲った新鮮な野菜や団子、花を販売しています。午前中になくなる事もあるので、朝が狙い目!!

【営】8:00～15:00(なくなり次第閉店)
【所】山田町豊間根3-181
【☎】080-1819-4967

海拔0mからの登山 山田湾の魅力を満喫

船越半島の最高峰への登山、そして山田湾を満喫できるクルーズが9月1日より運航開始。気軽に山田の魅力が味わえます。

霞ヶ岳への登山道は数カ所あり、約2時間程度で登山できます。登山中に見える山田湾や太平洋は絶景! 冬でも比較的積雪がないので、快適に登山する事ができます。震災で壊れた駐車スペースも工事が終わり、駐車可能になりました。瀨磯海岸からの登山は岩に描かれた「登山道」の目印に従い、駐車場から川を飛び越えて入口に向かいます。
【☎】山田町観光協会
【☎】0193-84-3775

泊まる

山田を満喫するなら やっぱり泊まらなきゃ!

船越家族旅行村 ケビンハウス

【料】4名(最大6名)9,970円(10棟)
※1名毎1,020円追加・暖房料230円
【時】IN14:00/OUT10:00
【営】1月4日～12月27日
【設】洋風、和風、バス、トイレ、寝具、食器、調理器完備
※ペット不可
【所】山田町船越(船越家族旅行村内)
【☎】0193-84-3755

オートキャンプ場 トレーラーハウス

【料】3名以下 6,300円、4名 7,320円(4棟・1棟 最大4名)
【時】IN14:00～16:00 ※遅くなる場合連絡/OUT10:00
【営】4月1日～11月3日まで
【設】リビング、ベッフルーム、トイレ・シャワー・ガス・水道(サンタリーハウス内)、屋外テーブル・椅子
【所】山田町船越(船越家族旅行村オートキャンプ場内)
【☎】0193-84-3755



旬な情報が満載!!

山田とれたて NEWS

焼きうに

岩手県産のウニをこれでもか〜という程に盛りつけた焼きウニ。パスタ・グラタンなどの料理やご贈答にも喜ばれる1品です。

100g 1,800円
150g 2,600円
200g 3,500円

取扱：五篤丸水産



山田せんべい風アイス

山田のお土産と言えば、山田せんべい。この山田せんべいを混ぜて作ったゴマ風味のアイス。さっぱりした味わいになっています。

1個 250円 取扱：五篤丸水産

農業まつり



【所】豊間根中学校グラウンド(雨天の場合は体育館)
【問】山田農業まつり実行委員会(山田町農林課) ☎0193-82-3111

10月20日 開催予定
9:00~15:00

地元山田の新鮮な農産物、団子、すつとぎ、ひゅうずなど、市価の2〜3割で安く販売されます。お楽しみ抽選会や餅まき、色々なお振舞いも魅力です。是非ご来場下さい。

やまだの朝市



【所】びはんプラザ店駐車場(小雨決行・荒天中止)
【問】新生やまだ商店街協同組合 ☎0193-77-3732

10月6日、11月3日、12月1日
朝6:00~9:00【毎月第1日曜日】

震災前から行われていた、やまだの朝市「いちび」。震災により一時中断していましたが、2012年8月より再開しました。新鮮野菜を始め視力検査、工具に雑貨。様々なジャンルの店舗が並びます。

山田の醤油ラスク

サクサクのラスクに山田の醤油をふんだんにつかいました。ほのかな甘みを感じさせ上品な醤油の香りが漂います。幅広い層のお客様にお楽しみいただけます。

1袋2枚入り 105円
1箱10袋入り 1,050円

取扱：五篤丸水産、びはん

●お問い合わせは、お取り扱い各店へ

五篤丸水産	びはんストアプラザ店	道の駅やまだ
【所】山田町中央町5-4	【所】山田町中央町5-6	【所】山田町船越6-141
【☎】0193-77-4312	【☎】0193-82-3881	【☎】0193-89-7025

原木しいたけ 炊きこみご飯の素

復活!!

震災後、販売がストップしていた日本一の椎茸名人が作った椎茸で作る炊きこみご飯の素。山田の椎茸は肉厚で味が濃く香りが強いのが特徴。お米と一緒に入れるだけで、誰でもカンタンに美味しい炊き込みご飯が完成!

1袋2合用 380円 取扱：道の駅やまだ

雨ノ日モ風ノ日モ 帆立ヒモ

一升漬は昔ながらの醤油、麴、青南蛮で造る保存調味料。その一升漬に山田町産の新鮮な帆立のヒモを漬け込みました。コリコリした触感と南蛮のピリっとした辛さがたまらない、ご飯にも、お酒のつまみにも合う商品です。【要冷蔵】

100g 350円 取扱：道の駅やまだ

さをりコースター

被災地のお母さんが手仕事で1つ1つ編んだコースターなので、世界で1つだけのマイコースターに。中にはメッセージカードと山田町の名刺が入っています。

1枚 500円 取扱：道の駅やまだ

さをり 底力ポロシャツ

被災地のお母さんが心を込めて編んだ「さをり織り」を人気の底力ポロシャツに直に織り込みました。1枚1枚丁寧に作られています。

1枚 5,000円 取扱：道の駅やまだ

あの日から明日に向かって 東日本大震災 山田の記録

震災から2年目の3月11日に発売。町民の方に声をかけ集めた写真で構成された震災の写真集。震災当時だけでなく、震災前の山田町も掲載。山田町が震災前どんな街だったか、そして復興に向け歩み続ける姿がよくわかる1冊です。

2,000円

取扱：道の駅やまだ・びはん・観光協会・五篤丸水産ほか

お祭りDVD

山田の人達がこよなく愛す山田祭。その山田祭を収録したDVD。震災前の映像なので、昔の街並み等も沢山収録されています。山田祭を知らない人もこれを見ればきっと山田ファンになること間違いなし!

1,200円

取扱：道の駅やまだ・観光協会ほか



岩手県山田町を満喫する観光ガイド

観光

やまだ

海と山
恵みさんさん
三陸山田

2013年
vol. 4



●特集NAVI 山田とれたてNEWS

山田のお土産ならこれ!!
農業まつり・やまだの朝市いちび

●観光NAVI

山田の魅力を満喫「霞露ヶ岳・クルーズ」
本設スポット誕生!「居酒屋・寿司 ささき」

●山田町おでかけマップ

●山田町商店街

山田町のふるさと名産品
ふるさとの味をご家庭で。
山田の名産品をお届けします。



**やまだの朝市
いちびが復活!**